

# 原のぶ子

(はら のぶこ)

明治34年(1901)～平成9年(1997)

松嶺町南町に生まれる。共立女子職業学校(現共立女子大学)を卒業後、母校で教鞭をとる。昭和9年、文部省の依託を受けて渡仏し、服飾デザインを学ぶ。帰国後、日本で初めて「フランス式立体裁断法」や「フランス式洋裁教育」を導入し、日本の服飾デザインの現在の標準を築き上げた。

昭和17年、原のぶ子アカデミー洋裁学園を開校。昭和29年にはデザイナーズクラブ「サロン・デ・モード」を創立し、日本で初めてファッションショーを開催するなど、服飾界の指導的人材育成に心血を注いだ。

昭和50年に山形県立米沢女子短期大学名誉教授に就任、昭和62年に松山町名誉町民となった。

昭和51年、勲五等瑞宝章を受章。夫は洋画家の原勝郎。